



# 宗岡二小だより

学校教育目標

○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

志木市立宗岡第二小学校

令和3年度 No.5

令和3年7月21日

志木市上宗岡3丁目13番1号

TEL 048 - 473 - 2305

児童数7月21日現在389名



「コロナ禍2度目の夏 有意義な夏休みをお過ごしください」

校長 可知 良之

最近、子どもたちに「今日は楽しかったですか」と聞くことがあるのですが、即答で「楽しかった!」と返してくれる子がたくさんいます。中には「今日の勉強が楽しかった」と答える子もいて、新しいことを学んだり、できなかったことができるようになったり、友達と一緒に学んだりすることは実に楽しいことなのだと改めて感じます。コロナ禍であっても子どもたちにとって学校は無条件に楽しいところであってほしいと願っています。さて、今日で1学期が終了しました。担任からは一人一人に通知表が渡されたはずですが、通知表は今学期の学校生活の評価をお知らせするものです。昨年からの評価の方法を大きく変えています。これまでの通知表は、どのような知識や技能がどの程度身についたかどうかを評価する「単元別評定」でしたが、新しい通知表では、学びに向かう力や思考力・判断力・表現力など身につけるべき資質、能力がどれほど身についたのかを評価する「観点別評定」に移行しました。新しい学習指導要領に合わせて、観点も4つから3つに変わっています。全教科共通の観点ですので教科の枠を取り払い、資質、能力の伸び具合を見て取ることができますし、学期ごとの伸び具合もわかります。

本校の通知表では3観点を文章で示しています。学年共通で1段目は知識・技能に関する評定、2段目は思考力・判断力・表現力に関する評定、3段目は主体的に学習に取り組む態度に関する評定になっています。授業での学習に対して、どれほど積極的に関わっていたのか、また粘り強く取り組んでいたのかどうかを主体的に学習に取

り組む態度のところで評価します。ただ単に先生の説明を真面目に聞いて覚えるだけでなく、思考力を十分働かせながら、自分の考えを文章や言葉で表現し、時には友達と議論を交わしながら深く学んでいたかどうか。そして、最後には学んだことが生きて働く知識や技能として使えるようになっていくかどうかをそれぞれ評定しています。ですから、この3つの観点は将来子どもたちが大人になって社会に出ていく時に最も必要とされる力なのです。

評定の基準は本校では3段階です。『よくできる』は90%以上の達成状況（そのような状態が授業の中で確実にいつも見られるレベル）、『できる』は80%以上95%未満の達成状況（おおむね良好といえる状態でこの調子で学習を続ければ大丈夫なレベル）、『もう少し』は80%未満の達成状況（基礎、基本の定着が不十分で、このままの状態が続いてしまうとこの先大きなつまずきの一因になりかねないレベル）としています。それぞれの評定の数を数えて一喜一憂することなく、どの教科のどの観点到に強みと弱みがあるのか読み取ってください。私は3つの中で最も大事な観点は主体的に学習に取り組む態度だと考えています。これは、学びに向かう力そのものであり、この力があれば、学習はいくらでもリカバリーできるからです。大事なのはやる気です。学校ホームページには大人でも間違いやすい漢字を各学年ごとにのせておきました。どうぞ親子でチャレンジしてみてください。コロナ禍での2度目の夏休み、多様な体験は難しいでしょうが、長いお休みですので有意義にお過ごしください。